

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「いのち」について考えよう『いのちってすばらしい!』

黒部市立荻生小学校

平成24年11月20日実施

滑川市立田中小学校(平成25年2月8日)、滑川市立南部小学校(平成25年2月16日)、魚津市立西布施小学校(平成24年10月11日)、魚津市立大町小学校(平成25年2月8日)、黒部市立生地小学校(平成25年2月20日)、黒部市立田家小学校(平成24年11月22日)、黒部市立石田小学校(平成25年3月1日)、黒部市立三日市小学校(平成24年9月25日)、黒部市立若栗小学校(平成24年10月20日)、黒部市立宇奈月小学校(平成24年11月10日)、入善町立ひばり野小学校(平成24年12月4日)、朝日町立あさひ野小学校(平成25年2月15日)、朝日町立さみさと小学校(平成25年1月30日)でも、いのちの授業をされました。

【授業の概要】

- 1 助産師の仕事
- 2 いのちの誕生のしくみ
- 3 胎児の成長の様子
- 4 出産時の様子
- 5 いのちの大切さ
- 6 10年後の自分
- 7 家族の愛
- 8 少年兵の話
- 9 スライド(出産時の赤ちゃんとも母親、家族)



今日学習して、命ってすごいなって改めて思いました。コンパスでもあけるのが難しいくらいの小さな穴からこんなに大きくなるまで育ててくれた親や、友達に感謝したいと思いました。いつも反抗してしまうけれど、たまには優しくしたいと思いました。赤ちゃんと触れ合って、赤ちゃんって不思議だなと思いました。手を近くに出すと、手を握ってくれるし、じっと見つめてくるのでかわいいなと思いました。



いのちの授業を学習して、改めて命の大切さなどが分かりました。また、今、自分が命のバトンを持っているので、次の人に渡して受け継がれるようにしたいなと思いました。ユニセフの写真に写っていた子どもがとてもかわいそうだなと思いました。まだ子供なのに鉄砲を持っていて、やらせている人はひどいなと思いました。今日の学習をして、お母さんやお父さんなどからもらった一つの命なのでこれからも大事にしたいなと思いました。



今日の学習で、まず始めに水島さんからの話を聞きました。まだお腹にいる赤ちゃんの成長の話、命の大切さを教えてくださいました。水島さんが赤ちゃんを産むお手伝いをしている気持ち、親の気持ちが少し分かったような気がします。その後、赤ちゃんと触れ合いました。抱いたときとても重かったです。そのとき命の初まりの重さを改めて感じました。そして、赤ちゃんを見ているうちに弟の小さいころを思い出しました。今より赤ちゃんの時の方がかわいい、おとなしいかなと思いましたが、今でもその一つの命を大切に、しっかりした姉として生きようと思いました。